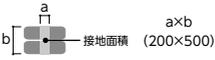
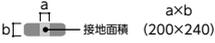
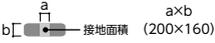


## 車輦用Exp.J.C.の強度と耐荷重

アーキパシジョン車輦用Exp.J.C.は、通行する車輦に合わせて適切な製品をご提案いたします。

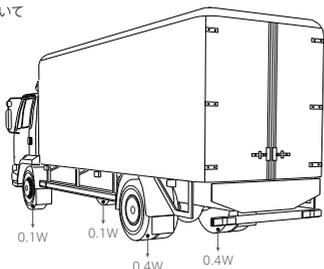
### ■車輦重量の強度基準

耐荷重	主な車輦(参考目安)	車輦総重量(N)	後輪一輪荷重(N)	車輦接地面積(mm)
輪荷重5t	車輦制限令で規定された車輦	—	50,000	
T-25	大型車輦 はしご付き消防車	250,000	100,000	
T-20	大型トラック 大型バス	200,000	80,000	
T-14	消防車 ゴミ収集車	140,000	56,000	
T-6	マイクロバス 救急車	60,000	24,000	
T-2	普通乗用車	20,000	8,000	

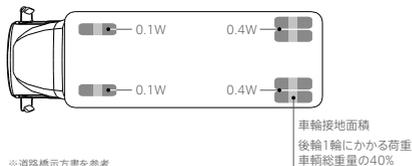
\*車輦総重量は、車輦重量と乗車定員、積載重量を合わせた総重量です。

\*その他の重量にも対応しますのでお問い合わせください。

T2~T25について

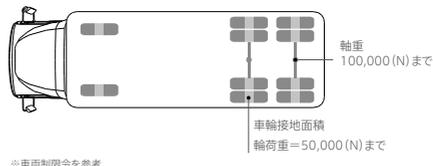
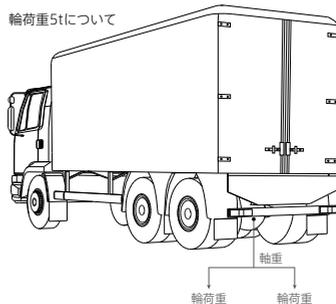


上部図



※道路標示方を参考

輪荷重5tについて



※車両制限令を参考

### 注意事項

- ・車輦通行時に地震が発生した場合、カバーが破損する恐れがあります。
- ・Exp.J.C.の車輦通行速度は、8km/h以下としてください。
- ・車輦通行部の床用Exp.J.C.は徐行で車輦が通過する条件で設計しております。減速帯(ハンプ)もしくは停止線などを設けて車輦速度を減速させる対策をお願いします。
- ・車輦が転回する場所への設置には適していません。Exp.J.C.上で、ハンドルを切りながら車輦が通過する場所への設置は避けてください。止むを得ず、車輦が転回する場所へ設置を検討される場合は、お問い合わせください。
- ・物流センターなどで大型車輦が多数通行する場合、フォークリフトや特殊車輦などが通行する場合は別途強度検討が必要です。

## ■ 車路シリーズに関する注意事項

- ・ 車輛通行時に地震が発生した場合、カバーが破損する恐れがあります。
- ・ Exp.J.C.の車輛通行速度は、8km/h以下としてください。
- ・ 車輛通行部の床用Exp.J.C.は徐行で車輛が通過する条件で設計しております。減速帯(ハンパ)もしくは停止線などを設け車輛速度を減速させる対策をお願いします。
- ・ 車輛が転回する場所への設置には適していません。Exp.J.C.上で、ハンドルを切りながら車輛が通過する場所への設置は避けてください。止むを得ず、車輛が転回する場所へ設置を検討される場合は、お問合せください。
- ・ 物流センターなどで大型車輛が多数通行する場合、フォークリフトや特殊車輛などが通行する場合は別途強度検討が必要です。
- ・ スロープなど勾配がある車路への取り付けは、Exp.J.C.の先端側を水上側に、固定側を水下側になるように設置してください。